

# 令和2年度（2020年度）事業報告

## 本財団で行う研修及び研究

本財団は、設立以来専ら精神分析の研修、研究事業を実施することによりわが国の精神保健の向上のため努力し、相当の成果を上げている。本年度もこれらの方針を継続し、下記事業を実施した。医師等に対する精神分析及精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー13件（うちワークショップ2件、新規セミナー1件）、単発セミナー6件（うち新規セミナー1件）、出版・広報事業1件、助成事業1件を実施しました。Covid-19による緊急事態宣言の発令などにより、セミナー3件の中止や、イベント1件が延期されました。

## I. 研修事業

### 1. 通年セミナー

#### (1) 新規—小寺精神分析的セラピーケースセミナー（第1期）

1995年に第1回小寺精神分析研究セミナーが開始して、25年の節目を迎えます。長い間親しまれた企画であり、日本の精神分析運動の歴史に名をとどめる貴重なセミナーだったと思います。

今回、それをいったん終了とし、「小寺精神分析的セラピーケースセミナー」を立ち上げました。

日本で現在、精神分析的な精神療法を学び、実践しつつある世代の方がセラピーケースを提示され、シニアの先生方に討論をお願いしました。

Covid-19の感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発令され、5月、6月7月のセミナーは中止し、9月開始にいたしました。

対 象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っており、守秘義務を負っている方。

開催期間：2020年9月～2021年3月、月1回

第3土曜日原則、午後7時～9時、全7回

9/19, 10/17, 11/21, 12/19, 1/16, 2/20, 3/27

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(Zoom ウェビナーによるオンラインと会場のハイブリット開催)

参加費：35,000円

参加人数：89名

運営方法：毎回、症例提示をしていただき、シニアの先生方に討論をお願いしました。

司会は藤山直樹が担当

企画及び担当：藤山直樹

日 時	コメンテーター	症例提示者
9月19日	岡野憲一郎	上田勝久
10月17日	吾妻 壮	坂井俊之
11月21日	奥寺 崇	山口貴史
12月19日	十川幸司	山崎孝明
1月16日	北山 修	井元健太
2月20日	相田信男	大塚由希
3月27日	松木邦裕	清水右子

## (2) 体験グループセミナー（第26期）

目的：精神分析、力動的療法を基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とする。

対象：精神分析セミナー、精神分析的臨床セミナーならびにそれに相当するセミナーの受講者修了者ですでに精神療法の経験をもつ方を優先する。

基本を2年コースと考えているので原則として2年目の参加者を優先。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2020年9月～2021年3月、月1回（5月、6月、7月は中止）

第4金曜日原則、午後7時～8時30分、全7回

9/25、10/30、11/27、12/25、3/26（プロム東陽町）

1/22、2/26（Zoomによるオンライン開催）

場所：プロム東陽町会議室4、もしくはZoomによるオンライン開催

参加費：35,000円

参加人数：26名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

## (3) グループ理論研究セミナー（第25期）

目的：精神分析、力動的医学を基礎におく集団療法臨床または指導者の養成を、理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的とする。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある、守秘義務をもつ専門家で、ことに事例提供が可能な方を原則とする。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2020年5月～2021年3月、月1回

第2土曜日原則、午後2時～5時 全10回

5/9、6/6、7/11、1/9、2/13、3/13 Zoomによるオンライン開催

9/12、10/10、11/14、12/12、プロム東陽町とZoomによるオンラインのハイブリット開催

開催場所：プロム東陽町会議室4及び、Zoomによるオンライン

参加費：60,000円

参加人数：37名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

## (4) 力動的家族療法セミナー（第18期）

目的：力動的な家族療法を中心とした家族面接と評価の方法、ジェノグラム書き方、介入技法など。

対象：個人療法に関する何らかの研修（セミナーあるいはスーパービジョンなど）を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・渡辺俊之・野末武義・岩井昌也・北島歩美

開催期間：2020年6月～2021年3月、月1回

原則第4土曜日、午後2時～5時 全9回（今年度のみ）

6/27, 8/1, 9/26, 10/31, 11/28, 12/26, 1/23, 2/27, 3/27

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム、(9/26のみZoomによるオンライン開催)

参加費：40,000円

参加人数：7名

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

#### (5) 小寺臨床講読セミナー

##### —現代クライン派の系統的理解(第IV期)—：4. 精神分析の展開過程

目的：系統的に論文講読に取り組む演習形式のセミナーです。本年度は、治療者側の準備すなわち乳児観察から、精神分析的アセスメント、精神分析過程とそこで生じるさまざまな問題について、主にクライン派の諸論文を読み進めます。

邦訳のある文献も含めて、初学者の方でも参加しやすいようにしました。経験ある方が再度勉強する機会にもなります。本年度からの参加も可能です。

対象：テキストを読んで毎回参加し、年に何回かレジュメ作成ができる方

講師：福本 修・平井正三(特別講師)

開催期間：2020年4月～2021年3月

4/10, 5/8, 6/12, 7/10, 8/14, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11, 2021年1/8, 2/12, 3/12

原則として第2金曜日 午後7時～10時、全12回

開催場所：Zoomによるオンライン開催

参加費：60,000円

参加人数：8名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

#### (6) 小寺臨床講読ワークショップ

##### —フロイトの系統的理解(IV期)—：3. 新たな分析的諸見地(1920-1939)

目的：本ワークショップは、参加時間の中でフロイト読解を体験して、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指しています。2020年度は、1920年以降の後期のフロイトの展開を取り上げます。集団力動の理解・改訂された欲動論・超自我-自我-エスの内的構造論・トラウマの問題など、現代の精神分析に直結している論文を中心に、そこに含まれている興味深い概念を検討すると同時に、臨場感ある現代論文を参照します。フロイトの著作は今も基本であり発想の源泉ですが、1世紀近く前に書かれたものを読み進めるのは、容易ではありません。晩年の著作も、対象関係論や現代の精神分析とはまだ距離があります。グループで読み進めることによって、理解は深まり、初学者の方も経験ある方も、新鮮なフロイトに触れることができるでしょう。3年目の本年度からの御参加も受け付けます。

対象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講師：福本 修

開催日程：2020年4月～2021年3月

4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18, 10/16, 11/20, 12/18, 2021年1/15, 2/19, 3/19

原則として第3金曜日 午後7時～10時、全12回

開催場所：Zoom によるオンライン開催

参加費：60,000 円

参加人数：13 名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

#### (7) 精神分析的心理療法セミナー (第 12 回)

目的：本年度のセミナーは、原則として月一回、年間 11 回開催の予定ですが、祝日を利用して一日に 2 事例を検討する特別セッションを実施しました。助言者として講師をお招きしますが、参加者が助言を担当することもあります。また、参加者は毎回、司会も担当しました。

対象：中堅以上の心理療法家で、十分な臨床経験と研修歴をお持ちの方

講師：中村留貴子、深津千賀子、妙木浩之、鈴木智美、岩倉拓 他

開催日程：2020 年 6/5、7/3、9/22(2 回分)、10/2、11/6、12/4、2021 年 1/11(2 回分)、2/5、3/5

原則として第一金曜日、午後 7 時 30 分～9 時 30 分 全 11 回

開催場所：Zoom によるオンライン開催および、小寺記念精神分析研究財団セミナールームとオンラインによるハイブリット開催

参加費：60,000 円

参加人数：11 名

企画者：中村留貴子

担当委員：岡野憲一郎

#### (8) 臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー アドバンストコース (第 3 回)

目的：このセミナーは、産業メンタルヘルス領域で働くための実践能力の養成を目的とします。アドバンストコースは、ベーシックコース修了者を対象としたコースで、事例検討を通して、産業メンタルヘルスの考え方や関わり方を学びます。

事例検討は、精神分析的および精神力動的な考え方に基づいたメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ KEIO Employee Assistance Program）の実践活動で得られた知見に基づいて行いますが、検討対象とするのは産業領域に限定しません。日々の臨床実践や現場で困っていることについても積極的に議論してきました。

対象：2017 年度までの「臨床家のための、産業メンタルヘルスセミナー」、「臨床家のための産業メンタルヘルス実践セミナー」修了者

講師：白波瀬丈一郎（東京済生会中央病院）、三浦有紀（東京済生会中央病院）

開催日時：2020 年 6 月～2021 年 2 月、

6/14、7/12、8/23（2 コマ）、9/13、10/11、11/15、12/13、1/17、2/7

原則として 第 2 日曜日 全 10 回 10 時～12 時半 4 月、5 月は中止

開催場所：Zoom によるオンラインセミナー

参加費：30,000 円

定員：13 名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

## (9) 精神分析志塾 (第5回)

目的：本志塾は開講5年目となります。中堅臨床家の方たちの志の向上を意図し、限定されたメンバーによるクローズド・ワークショップの形態を取ります。精神分析や精神分析的  
精神療法/心理療法での力量向上とともに、分析的経験から濃く学び、創造力を高めること  
を目指します。年度の終わりに、受講者による「トラウマの精神分析的アプローチ」  
を刊行しました。

対象：中堅臨床家（臨床経験7年以上[院生修士時代を除く]、精神分析学会一般演題の発表経験  
を有す）

講師：松木邦裕

開催日程：2020年5月～2021年3月

5/10, 6/7, 7/5, 8/9, 9/6, 10/4, 11/1, 2021年1/10, 2/7, 3/7

原則として第1日曜日 10:30～15:50（休憩時間を含む）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

Zoomによるオンライン、およびハイブリット開催。

参加費：73,000円

定員：21名

企画者：松木邦裕

担当委員：奥寺 崇

## (10) 「子どもの心の発達セミナー—児童、青年、家族のトラウマ理解に向けて—」(第5回)

目的：2020年度は、「トラウマ」という観点から、子ども、青年、家族の心の発達について学んで  
いきます。私たちが、医療の場、児童養護施設、母子生活支援の場、学校などで出会う  
子ども、青年、家族は、さまざまな形でトラウマを体験していると言えます。トラウマ体  
験をもつ人たちの支援に取り組むとき、個人のトラウマ体験はもちろんのこと、その人  
を取り巻く人たちの関係性、さらには、専門家集団の力動にも注意を向け、理解していく  
ことが助けになると考えられます。それは、個人の内的世界（内在化された体験および対象  
との関係性）は外的世界と密接に関連していると想定できるからです。

各回、前半は講義、後半は事例検討で構成されます。受講生がより積極的に参加できるよ  
う小グループに分かれてのディスカッションも取り入れる予定です。

対象：医療、福祉、教育、司法領域で児童青年に関わっている専門家、近接領域の専門家、大学  
院生

講師：鈴木 誠、奥寺 崇

司会：脇谷順子

開催日時：1回目 2021年1月24日（日）、2回目 1月31日（日） 1回のみ参加も可  
13:00～17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

参加費：12,000円（1回のみ参加7,000円）

参加人数：2日間31名 1日のみ3名

企画者：脇谷順子

担当委員：脇谷順子

### (1 1) 乳幼児観察セミナー (第 5 回)

目 的：乳幼児観察は精神分析の基礎訓練だけでなく、こどもと関わる専門職にとっても大きな貢献と知見を与えます。今年度は、乳幼児観察の臨床的応用として、学校臨床、一般臨床に応用する乳幼児観察について論じるつもりです。乳幼児観察は奥深く、臨床家に多大な貢献を為すことが知られていますが、さらに乳幼児観察の重要性を再確認したいと思います。また、本セミナーは我が国で行われている乳幼児観察に関する研究会の中心となるようなフィールドとなることを目論んでいます。

対 象：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

講 師：木部則雄、鈴木龍、脇谷順子、上田順一

開催日時：2020年9月20日(日)、2021年2月28日(日)

13:00~17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

参加費：12,000円

参加人数：18名

企画者：木部則雄

担当委員：木部則雄

### (1 2) 自我心理学臨床セミナー：現代の自我心理学 (第 4 回)

目 的：今回のシリーズは、現代の自我心理学的な臨床が、対象関係論や自己心理学、関係論、あるいはエヴィデンス基盤との対話のなかで、どのような形で生き残ってきたのか、について考えたいと思います。そのためセミナーが対象とするのは自我心理学の特徴を受け継いでいる流れ、メンタライゼーション、転移焦点化療法、そして現代自我心理学派(F. パインズやF. ブッシュ)、さらに関係論的な精神分析、短期力動療法などです。昨年度に付け加えたいのは、レヴェンソンをはじめとした関係論の立場、そして短期力動療法の流れです。ホッフマンの専門家として小林先生を、そして関係論の論客として新たに吾妻先生をお招きしました。

対 象：自我心理学に興味があり、臨床を行っている方(経験の多寡は問いません)

講 師：岡田暁宜、東啓悟、鳥越淳一、小林陵、吾妻壮

司会・進行：妙木浩之

開催日時：2020年6月~2021年3月 第4日曜日原則 午前10時~12時半 全6回

6/28, 8/30, 9/27, 12/27, 2/28, 3/28

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

参加費：24,000円

参加人数：13名

企画者：妙木浩之

担当委員：岡野憲一郎

### (13) 英国独立学派の講読セミナー (第2回)

目的：初年度は独立学派の対象関係、創造性、早期の情緒発達、セクシュアリティ、技法論といったトピックに関連した主要論文を読んできたので、開講2年度の今年はE. Raynerによる独立学派の各分析家の位置づけをまとめたテキストを中心に、関連する文献を参照しつつ体系的な理解を目指したい。各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

開催日時：2020年5月～2021年3月

5/17、6/21、7/19、9/20、10/18、11/15、12/20、1/17、2/21、3/21

原則第3日曜日 全10回(8月はお休み)

開催場所：クリニックおくでら(小田急小田原線 経堂駅 徒歩5分)

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

講師：奥寺 崇

対象：フロイト理論の系統講義(基礎講座、精神分析セミナー)セミナーの受講経験がある専門家

参加費：40,000円

参加人数：6名

企画者：奥寺 崇

担当委員：奥寺 崇

※臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー ベーシックコース(第8回) は開催を中止しました。

## 2. 単発セミナー

### (1) 精神分析—医学生・研修医セミナー(第13回)

目的：臨床医をめざす医学生・研修医に、人間の心を深く見つめる精神分析の世界について、充実した内容をコンパクトに解説するものです。

開催日時：2020年11月22日(日) 9:50～17:30

23日(月・祝) 10:00～16:40

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

講師：北山修・白波瀬丈一郎・高野 晶・藤山直樹・池田暁史・小林要二

対象：初期/後期研修医、医学部5・6年生を優先

内容：レクチャー 懇親会、分析家オフィス見学ツアーはオンライン開催のため中止

参加費：医学生7,000円、研修医12,000円

参加人数：医学生7名 研修医13名

企画者：池田暁史

担当委員：池田暁史

## (2) 関係性精神療法セミナー(第10回)

### 「無意識的空想」

目的：このセミナー・シリーズは、2011年に第1回が開かれ、今年で第10回目を迎える。関係精神分析(関係論、関係性理論、関係性精神療法)は、対象関係論、サリバン派、コフォート派、間主観性理論、自我心理学などを包括的に含み、現代アメリカの精神分析の新しい流れを総括するものである。今年、精神分析の原点に戻り、「無意識的空想」をテーマとして選んだ。無意識的空想は精神分析の重要な基本概念であるが、その意義については議論の分かれるところである。特に関係精神分析の流れの中で批判的に論じられることも少なくないこの概念について、本セミナーではさまざまな角度から考え直してみたい。その際、非意識あるいは新無意識などの新しい概念も紹介しながら、無意識そのものについても掘り下げ、議論を深めていきたいと考えている。初学者にも分かり易く伝えることを心掛けながら、一方で、最新の知見も交えて解説していきたい。さらに、アンケートなどを用いながら、参加者と積極的に対話を進めていきたいと考えている。

対象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

開催日時：2020年7月5日(日) 午前10時～午後3時

開催場所：Zoomによるオンラインセミナー

対象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発表者：富樫 公一(甲南大学)、吾妻 壮(上智大学)、岡野憲一郎(京都大学)

司会：岡野憲一郎

参加費：6,000円

参加人数：30名

企画者：岡野憲一郎

担当委員：岡野憲一郎

## (3) 学際的ワークショップ「精神分析の知のリンクにむけて」

### —第5回『ウィニコットの思想』—

目的：第五回のワークショップでは、村上靖彦氏、東畑開人氏をメインゲストとしてお招きします。

指定討論は、当ワークショップのコーディネータの一人である藤山直樹、ならびに気鋭の精神分析的な心理療法家である上田勝久氏、山崎孝明氏が行います。司会は当ワークショップの企画者である十川幸司が担当します。

開催日時：2020年10月4日(日) 13:00～17:00

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(Zoom ウェビナーによるオンラインと会場のハイブリット開催)

参加対象：精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

発表者：村上靖彦(大阪大学)

：東畑開人(十文字学園女子大学、白金高輪カウンセリングルーム)

討論者：藤山直樹(個人開業)

上田勝久(兵庫教育大学)

山崎孝明(こども・思春期メンタルクリニック)

司 会：十川幸司（十川精神分析オフィス）  
参加費：一般 3,000 円、 学生 1,000 円  
参加人数：一般 103 名、学生 33 名  
企画者：十川幸司  
担当委員：十川幸司

#### （4）心理臨床家のための力動的精神病理学入門 4

目的：今年「興奮、躁状態」を取り扱います。双極性障害や ADHD をはじめ、この精神病理の諸症状について、精神分析がどのように考えてきたか、精神薬理はどう考えるか、そして現代の精神医学・臨床心理学がどのように考えているか、といった主題を扱います。精神分析・力動的精神医学の立場、精神薬理学の立場、力動的査定のための心理テストの視点から、そして力動フォーミュレーションの立場から考えます。精神分析的な立場からは妙木浩之、精神薬理学の視点から渡邊衡一郎先生、心理テスト査定の視点から吉村聡先生、それぞれの専門家がさまざまな精神障害に伴う落ち着きのなさの背景にある「躁や興奮」という症状について考えます。

開催日時：2021 年 3 月 20 日（祝・土）10：00～17：00

開催場所：Zoom によるオンライン開催（講師のみセミナールーム）

参加対象：臨床心理士・精神科医

講師：渡邊衡一郎、吉村聡、妙木浩之

司 会：加茂聡子

参加費：5,000 円

参加人数：59 名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

#### （5）力動的家族臨床入門（第 3 回）

目的：日常臨床では、かなりの数のケースについてその家族と接することが多いのが現実です。個人療法のみをおこなおうとしても家族が介在することでその実施に混乱を来したりすることは、創始者フロイトがまず出くわした困難でもありました。特に思春期青年期のクライアント、子どもの問題、親からの相談依頼などでは、個人療法ベースの臨床では対応が困難なことが歴然としています。ではどのような対応が望まれるのでしょうか？そのためには背景にある家族の関係性を力動的にアセスメントし、関係性への介入を学ぶ必要があります。昨年に続いて力動的家族臨床の考え方を紹介し、講師の実際の面接を紹介し、解説を加えることで、その方法の基本的な考え方を理解していただければと思っています。

開催日時：2021 年 3 月 14 日（日）10：00～16：00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

講師：中村伸一

参加対象：力動的家族臨床に興味のある方、職種は問いません。大学院生も参加可能です。

参加費：5,000 円

参加人数：7 名

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

#### (6) 新規—初回面接入門：力動フォーミュレーションとビデオ録画

目的：ビデオによる面接の研究および訓練のためのディスカッション、そして並行して見立てのための力動フォーミュレーションの訓練を行ってきた先生方を中心に、午前午後にわたって、それら二つを組み合わせ、単発のセミナーを行う。見立てをたてながら面接をどう組み立てていくのか、あるいは逆に面接の中で分かることはケースの見立てにどのような影響を及ぼすのか、などを議論して、最後に面接のやりとりとケース概要からわかることを立体的に組み合わせる試みを行う。

開催日時：2021年2月21日 10:00～17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

(Zoomによるオンラインと会場のハイブリット開催)

講師：小林陵・山崎孝明・妙木浩之

司会・進行：加茂聡子

参加費：8,000円

参加人数：33名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

※『タヴィストックセミナー』（第11回）、及び海外講師によるグループ・セミナーは開催を中止しました。

#### 3. 特別企画—— 延期（開催日時未定）

土居健郎 生誕100年記念シンポジウム及び懇親会

#### II. 助成事業

日本集団精神療法学会第38回学術大会

#### III. 出版・広報事業

ホームページの充実、名簿の整理及び今後のメールによる情報発信の準備

財団が過去に行ったセミナーの内容をもとにした出版の構想など。

今年度は、「精神分析志塾」の参加者による、「トラウマの精神分析的アプローチ」を刊行しました。

担当：岡野憲一郎